

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	静岡県下に在籍する看護系大学教員のメンタルヘルスに関する研究 ～職場環境の特性と精神的健康の関連～				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	遠藤 りら
	研究分担者	所属・職名	順天堂大学 保健看護学部・講師	氏名	桑村 淳子
		所属・職名	看護学部・助教	氏名	近藤 美保
		所属・職名	看護学部・准教授	氏名	長澤 利枝
		所属・職名	看護学部・教授	氏名	篁 宗一
	発表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	遠藤 りら

講演題目	静岡県下に在籍する看護系大学教員のメンタルヘルスに関する研究 ～職場環境の特性と精神的健康の関連～
------	--

研究の目的、成果及び今後の展望

【研究目的】
本研究の目的は、看護系大学教員の職場環境の特性と精神的健康との関連について明らかにすることである。静岡県内の看護系大学教員を対象に調査を実施し、看護系大学教員の職場環境の改善、精神的健康を維持するための支援に向けての基礎資料とする。

【成果および今後の展望】
近年、大学は全入学時代を迎え、各大学とも自らの独自性を重視するとともに、教育の質の保証につながる教育基盤形成への努力が一層重要となっている。令和3年度の学校基本調査では、全国の大学数は803校と増加を続け、このうち看護系大学は275校となり全国の大学数の約3割を占めている(文部科学省, 2021)。静岡県内においては、国公立2校、私立4校の計6校の看護系大学を有している。各大学のホームページに公開されている専任教員数(2022年5月1日時点)を集計した結果、国公立81名、私立159名で、計240名だった。

大学教員は「教育」「研究」「運営」「社会貢献」の4つの役割を担い、看護系大学では、講義や演習に加えて、臨地(病院・施設など)における看護ケアを実践する看護専門職としての教育的役割を担うという特徴がある。看護系大学の仕事における困難感の内容として、【教授活動】、【学生指導】、【研究活動】、【職務】、【上司との関係】、【同僚との関係】が報告されている(横山, 2022)。また、多くの大学では、契約職員・非常勤職員の増加や任期制導入による、雇用の不安定化が進行している(原田, 2014)。大学教員のストレスに関する研究では、大学教員の職業性ストレスモデルとして、「仕事の適正度」、「働きがい」が「不安感」、「抑うつ感」に影響を及ぼすことが報告されている(木村ら, 2007)。このような職場環境において看護系大学教員自身がメンタルヘルスの不調に陥る危険性が示唆されている。

今後は、看護系大学教員を対象とするWEB調査の実施に向けて、先行研究を基に看護系大学の職場環境の特性と精神的健康を測定できる調査内容を検討し調査票を作成する。さらに看護系大学教員のメンタルヘルスの実態を把握するとともに支援方法を検討していくことを目指す。